

西川産業(株) 日本睡眠科学研究所所長	古川 雅嗣 様
(一社) 日本ゴム工業会事務局長	青木 正己 様
ウレタンフォーム工業会専務理事	大川 栄二 様
(株)ロマンス小杉マーケティング部商品部長	小出 登 様 (欠席)
(株)ロマンス小杉マーケティング部 MD	竹内 伸一 様
西川リビング(株)法務室長	吉兼 令晴 様 (業種別委員長)
(一社) 日本寝具寝装品協会専務理事	奥谷 孝良 事務局 中村 富夫

## JBA 第 4 期業種別委員会：第三回ウレタン・敷部会議事録

### 記

1. 開催日時 平成 29 年 8 月 25 日 (金) 10:30~12:30
2. 開催場所 JBA：(一社) 日本寝具寝装品協会 日本橋小舟町事務所内  
東京都中央区日本橋小舟町 7-2 小舟町 243 ビル 7F ☎ 03-6661-0213
3. 議題(1) アンケート調査の細分化分析での消費者購入ポイントについて  
性別 年齢 地域 使用パターン 購入ポイント 他
- (2) 品質表示ルールの検討  
・圧縮データ資料分析  
  
・国際的な ISO 基準規格について
- (3) その他

### 議事録

#### 議題 (1) \*資料参照

古川部会長：西川産業、ウレタンフォーム工業会、日本ゴム工業会、ロマンス小杉 4 社の 69 名アンケート分析資料を説明した。

青木委員：フローア使用者の方がより要求度が高い。建物住居によっても要求に差があると思う。要求度のある寝返りの容易さのデータ取得は可能なのだろうか。

奥谷専務：保温性の要求度は特にフローア使用者に高い。

竹内委員：インターネットリサーチ 敷ふとんの悩み 336 名データとか 補助資料として見ることも可能です。

吉兼委員長：何故、ベッドなのか、フローア使用なのかのアンケート調査もほしい。

日本睡眠環境学会でも、製品性能評価検討委員会があり今後アンケート実施予定でもある。

奥谷専務：当部会で実施しているアンケート調査を共有して頂きたい。また共通項目のデータ取得を必要とする（保温性等）は共有し活動していきたい。

古川部会長：次回までに、西川産業 330 名分アンケートも同様の分析表を準備したい。

議題（２）の１ ＊資料参照

大川委員：圧縮データ試験 A 法、B 法の他に圧縮クリープ試験もある。硬め、柔らかめ以外に復元率やクリープ性値も重要と思う。

古川部会長：クリープ試験は特筆しても良いデータと思う。

議題（２）の２ ＊資料参照

青木委員：本表の ISO 規格と対応 JIS (素材・フォーム) 評価法をもっと活用できないか。

大川委員：複合構造が多くなり、試験方法をどうするか。

古川部会長：現状試験方法でデータ取得して見ることだ。どの項目を試験対象とするか。

奥谷専務：ISO6915 生地と積層ウレタンフォームの製品規格とか流用できないものか。

議題（３）

竹内委員：家表法改正で A 法表示が決定しているので切り替えていくしかない。

奥谷専務：家表法表示に付則表記をすることも必要と思う。

大川委員：当面はそうする以外方法はないものと考え。また、小売店頭では、ベッド用とか、フローア用とかの表記がない実情もある。

古川部会長：次回 9 月 19 日（火）には、前回調査済みの 330 名アンケート分析報告を実施、ベッドとフローアのニーズの違いを把握、そして試験項目を特定する。

青木委員：来年 3 月までにベッド用、フローア用の概念を決める。その中で求められるデータ等の表記項目を特定していく認識で間違いないか。

奥谷専務：年内に所轄官庁経産省・消費者庁に打診し了解を得ていきつつ、来年度以降正確なるデータ取りをして行きたい。

青木委員：他の JBA 部会との進捗関連性はどうするのか。

奥谷専務：ふとん部会、まくら部会等との情報共有し整合しつつ進めていく。

古川部会長：10 月 11 日開催予定を変更し 10 月 18 日（水）に決定する。

以上